

# Regeo

フルセグチューナー内蔵9インチメモリーナビゲーション

AZ-921



## 取扱説明書



### 保証書別添付

このたびは、フルセグチューナー内蔵9インチメモリーナビゲーションをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取り下さい。

<販売店様>

接続・取り付けが完了しましたら、お客様へ本書をお渡しください。

# 目次

---

---

## はじめに

■安全上のご注意（必ずお守りください）-----	1
■商品構成一覧表-----	4
■本体各部の働き-----	7
■基本操作 -----	9

## 操作方法

■テレビを見る-----	12
■ラジオを聞く-----	15
■Bluetoothを使う-----	17
■メディアを再生する-----	26
■オーディオ設定-----	36
■本体設定-----	38
■Apple CarPlayを使用する-----	46
■Android Autoを使用する-----	48

## 付属品の使用方法

■電源、ケーブルの接続方法-----	49
■本体の設置方法-----	51
■モニターの取り付け説明-----	52
■フィルムアンテナについて-----	54
■フィルムアンテナの構成-----	55
■フィルムアンテナの貼り付け位置について-----	56
■フィルムアンテナを貼り付ける-----	57
■アンプホルダーを給電部に貼り付ける-----	58
■アンテナケーブルを固定する-----	59
■トラブルシューティング-----	60
■本機で使用できるメディアとフォーマットについて-----	62
仕様 -----	62

※本取扱説明書記載の画像やイラストはイメージです。実際とは異なる場合があります

## 安全上のご注意（必ずお守りください）

安全のために必ずお守りいただくことを説明しています。  
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

	<b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
	<b>注意</b>	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために守っていただきたい事項
	<b>禁止</b>	絶対にしていけない事項
	<b>強制</b>	必ず守るべき事項

### 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する、  
また、交換は専門技術者に依頼する

- 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店または弊社サービスセンターにご依頼ください。  
(ヒューズ: 15A)

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない

- 運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やケガの原因になります。

取り付けには車両の保安部品のボルト  
やナットを絶対に使用しない

- ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

運転者は走行中に操作しない、また画像・表示を注視しない

- 走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取り付け、配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる。

- 車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように配線する

- ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

## ⚠ 警告

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因になります。

DC12Vマイナスアースの車で使用する

- ⚠ DC12Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因になります。

故障や異常のまま使用しない

- 🚫 煙が出る、変なにおいがするなどの異常な状態で使用すると発火などの原因になります。

- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店でご相談ください。

分解や改造はしない

- 🚫 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因になります。

- 内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

付属品の小部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- 🚫 小部品を誤って、飲み込む恐れがあります。万が一飲み込んだと思われる時は、直ぐに医師にご相談ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ⚠ 内部に金属物や燃えやすいものなどがあると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

指示に従って正しく配線、取り付けを行う

- 取扱説明書に従って正しく配線、取り付けをしないと火災や事故の原因になります。

配線、取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス端子 ● を外しておく

- バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線、取り付け作業をすると、ショートによる感電やけがの原因になります。

機器の通風孔を塞がない

- ⚠ 機器内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

配線、取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ⚠ 配線、取り付け/取り外しには、専門技術と経験が必要です。

## ⚠ 注意

車載用以外には使用しない

- 🚫 車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になることがあります。

強い衝撃を与えない

- 🚫 落下させる、叩くなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

コードをかみこませたり、引っ張ったり傷つけない

- 🚫 ショートや断線により、発煙、発火や故障の原因になります。

必ず付属品や指定の部品を使用する

- ❗ 指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できず機器がずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

高温になる場所などに取り付けしない

- ❗ 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると、内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所に取り付けしない

- ❗ 雨や洗車などで水がかかつたり、湿気、ほこり、油煙などが機器内部に入ると、発煙、発火、感電やけが、故障の原因になります。

振動の多いところや不安定な場所に取り付けしない

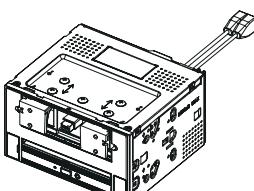
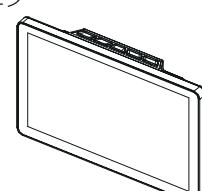
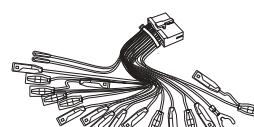
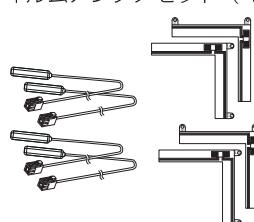
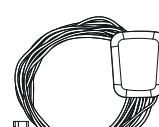
- ❗ 強い曲面などに取り付けると、走行中に外れたり、落下したりなど、事故やけがの原因になることがあります。

本体背面のヒートシンクに触れない

- ❗ 通電中および電源オフ直後は、本体背面にあるヒートシンク部分が高温になる場合があります。直接触れると火傷、怪我の原因になります。

## 商品構成一覧表

本機には、次のものが同梱されています。設置、接続の前にご確認ください。万が一、足りない場合や破損していた場合は、販売店またはサービスセンターまでご連絡ください。

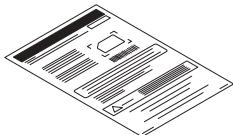
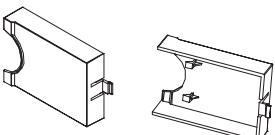
<p>■ 本体</p> 	<p>■ モニター</p> 
<p>■ 外部入出力ケーブル</p> 	<p>■ 電源ケーブル</p> 
<p>■ フィルムアンテナセット (4セット)</p> 	<p>■ GPSアンテナ</p> 
<p>■ 地図microSDカード(本体挿入済み)</p> 	<p>■ モニター固定用ネジ (5本) ※1本は予備</p> 

\* USBケーブルは本体に直接装着されています（取り外し不可）

\* USBケーブルはメディア用/充電用となります

\* メディア用USBケーブルは、USBカードリーダーを介した接続ができない場合があります

## 商品構成一覧表(つづき)

<p>■ ナビゲーション取扱説明書</p> 	<p>■ 取扱説明書</p> 
<p>■ 保証書</p> 	<p>■ 取り付け用ネジ (8本)</p> 
<p>■ B-CASカード</p> 	<p>■ GPSアンテナ固定プレート</p> 
<p>■ モニターアームカバー</p> 	<p>■ マイク</p> 

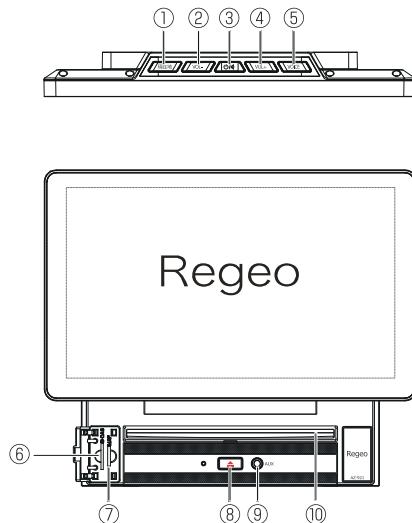
## 商品構成一覧表(つづき)

### △ 使用のご注意

#### 地図専用microSDカードについての注意事項

- ・本体に挿入済のmicroSDカードは地図専用となりますので、メディアとしての使用はできません。また、データの消去はナビゲーションが使用できなくなりますので、絶対に行わないでください。
- ・microSDカードは直射日光のあたる場所など、高温になる場所に置かないでください。故障や変形の原因となることがあります。
- ・microSDカードの端子に手や金属で触れないでください。故障の原因となることがあります。

## 本体各部の働き



### 1 現在地ボタン

短押しすると、現在地画面に切り替えます。  
長押しすると、AVホーム画面に切り替えます。  
※画面が現在地画面の場合、短押し無効  
※画面がAVホーム画面の場合、長押し無効

### 2 音量一ボタン

短押しすると、音量が1ステップで下がります。  
長押しすると連続して下がります。

### 3 電源/MUTEボタン

AVソース時、短押しすると音声がMUTEされます。  
電源ON時、長押しすると電源OFFとなります。  
電源OFF時（エンジンオン状態）、短押しすると電源ONとなります。

### 4 音量+ボタン

短押しすると、音量が1ステップで上がります。  
長押しすると連続して上がります。

### 5 VOICEボタン

CarPlayソースまたはAndroid Auto<sup>TM</sup>ソース時、このボタンを押すと音声認識が起動します。

### 6 B-CAS挿入口

B-CASカードを差し込みます。

### 7 MAP microSDカード挿入口

※地図データが書き込まれている専用microSDカードが収納されています。

## 本体各部の働き（つづき）

⑧ イジェクトボタン  
ディスクを取り出します。

⑨ フロントAUX入力端子  
フロントAUX入力端子です。3.5mmステレオミニジャック対応です。

⑩ ディスク挿入口  
ディスク（DVD/CD）の挿入口です。

# 基本操作

## 電源のオンオフ

### ① 電源を入れる

イグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、電源がONになります。  
エンジンをかけると、本体が通電してオープニング画面が表示され、AVホーム画面、  
地図またはオーディオ画面などが表示されます。

### ② 電源を切る

イグニッションキーを「OFF」にすると、電源がOFFになります。

※電源を切る時やソースを切り換える場合は、音量を最小にしてください。  
電源ON 時に音が大きくなる場合があり、運転の妨げや聴覚障害などの原因と  
なることがあります。

## 基本操作(つづき)

### ナビゲーション

ナビゲーションモードを表示します。



### ラジオ

ラジオモードを表示します。



### Bluetooth

Bluetoothモードを表示します。  
Bluetooth機器と接続している場合、  
アイコンがハイライトされます。



### Apple Carplay

Apple Carplayモードを表示します。  
iPhoneが接続された場合、アイコンが  
ハイライトされ操作が可能となります。



### Android Auto

Android Autoモードを表示します。  
Android携帯が接続された場合、アイ  
コンがハイライトされ操作が可能と  
なります。



### USB

USBモードを表示します。  
デバイスが接続された場合、アイコンが  
ハイライトされ操作が可能となります。



## 基本操作(つづき)

### CD/DVD

DISCモードを表示します。  
DISCが挿入された場合、アイコンが  
ハイライトされ操作が可能となります。



### TV

テレビモードを表示します。



### AUX

AUXモードを表示します。



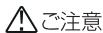
### VTR

「VTR」アイコンをタッチすると、  
リア外部入力に接続されているオーディオや  
ビデオの画面が表示されます。  
オーディオやビデオの入力信号がない場合、  
「信号がありません」と表示されます。



## テレビを見る

メインメニューの「TV」アイコンをタッチすると、TV画面が表示されます。TV信号がない場合、「信号がありません」と表示されます。



※はじめてご使用になる場合は、必ず「チャンネルスキャン」を行ってください。

### ■ コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

### ■ 走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中にパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

TV信号がある場合、テレビ映像画面を表示します。映像画面をタッチすると以下の操作バーが表示されます。

【ページ1】



【ページ2】



## テレビを見る（つづき）

- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- 2 時計表示  
現在の時刻を表示します。
- 3 10 操作切り替えボタン  
このボタンをタッチすると操作バーの切り替えができます。
- 4 スキャンボタン  
チャンネルスキャンを行います。スキャンが完了すると受信可能な番組が表示されます。
- 5 受信モードボタン  
このボタンをタッチすると受信モードの切り替えができます。  
オート：フルセグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。  
フルセグ：フルセグ放送を受信します。  
ワンセグ：ワンセグ放送を受信します。  
※広範囲で安定受信ができるオートがおすすめです。
- 6 中継局サーチボタン  
「オート」に設定すると、現在地の受信感度が低下した場合、現在地から最も近い中継局を自動的に検索します。
- 7 初期化ボタン  
テレビの全ての設定を初期化（工場出荷状態）にします。
- 8 情報ボタン  
このボタンをタッチすると、mini B-CASカードのID番号とバージョンの確認画面が表示されます。  
上側：ID番号が表示されます。  
下側：バージョンが表示されます。



ご注意

※mini B-CASカードを保護するため、カードの差し込みと取り出しは本体の電源がオフの状態で行ってください。

## テレビを見る(つづき)

### ⑨ PIPボタン

TVとナビの2画面表示に切り替えます。

### ⑩ ⑪ ⑫ ▲/▼ボタン

放送番組を変更します。

「▲」ボタン：前のチャンネルに戻ります。

「▼」ボタン：次のチャンネルに進みます。

### ⑬ 音声ボタン

番組に複数の音声がある場合に主音声（M）/副音声（S）の切り替えができます。

### ⑭ 字幕切り替えボタン

字幕放送の字幕表示/非表示の切り替えができます。

### ⑮ 番組表ボタン

現在受信中のチャンネル番組表が表示されます。

「UP」「DOWN」ボタンでスクロールして番組名をタッチすると

詳細情報が表示されます。

「戻る」ボタンをタッチするとテレビ画面に戻ります。

### ⑯ チャンネルリストボタン

視聴したいチャンネルリストをタッチすると、このチャンネルの放送画面に切り替えができます。リスト下の「>」ボタンをタッチすると、テレビ画面に戻ります。

### △ ご注意

※USBビデオ・DVD・TVソースを視聴中に液晶を縦画面にするリヤモニターへの映像出力ができません。

リヤモニターへ映像出力する場合は、縦画面を解除するか、ホーム画面または地図画面に切替えるとリヤモニターへの映像出力が可能となります。

## ラジオを聴く

### ラジオ画面

メインメニュー画面の「ラジオ」をタッチすると、ラジオモード画面に切り替わります。



- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- 2 時刻表示  
現在の時刻を表示します。
- 3 プリセットリストボタン  
リストにプリセットされた放送局（1～6）をタッチして選局できます。お好みの放送局を受信したとき、1～6の任意のリストを長くタッチすると、その場所に保存できます。
- 4 Band表示  
選択しているバンドを表示します。タッチすると、バンドを切り替えることができます。  
※FM1/FM2/FM3/AM1/AM2
- 5 タッチすると、現在の周波数より低い周波数を自動的にサーチします。
- 6 受信周波数表示  
受信中の周波数が表示されます。
- 7 タッチすると、現在の周波数より高い周波数を自動的にサーチします。

## ラジオを聴く（つづき）

### 8 DXボタン

スキャンボタンによる自動サーチをした時、各モードによってサーチの方法を切り替えることができます。

自動検索で電波が強いチャンネルのみ記録する場合はLOCを選択してください。

自動検索で電波が弱く、検索ができない場合はDXを選択してください。

- ・ Localモード： 周波数（放送局）サーチを行うと、ノイズの多い周波数（放送局）をスキップして、受信レベルの強い周波数（放送局）のみをサーチします。
- ・ DXモード： ノイズの多い周波数（放送局）もサーチします。そのため、サーチできる周波数（放送局）はLocalモードよりも多くなります。

### 9 プリセットスキャンボタン

タッチすると、自動的にスキャンを行います。

受信レベルが強い6つの周波数（放送局）を自動的にプリセットします。

※オートスキャンが完了すると、プリセットされていたリストが上書きされます。

### 10 任意の周波数をダイレクトサーチします。入力可能な周波数は以下となります。

・ FM=76～99 (MHz)

・ AM=522～1629 (kHz)

例) FMの79.5MHzをサーチしたい場合

バンドをFMに切り替え、テンキーで「7」→「9」→「5」と入力し、「確定」をタッチします。文字を削除する場合は「」、元の画面に戻る場合は「取消」をタッチしてください。

### 11 EQ ボタン

音響効果を設定します。

# Bluetoothを使う

## Bluetoothデバイスの接続手順

Bluetooth機器を使う場合、あらかじめ本機にBluetooth機器を登録（ペアリング）する必要があります。

以下の手順に従って、Bluetooth機器の登録を行ってください。



### 手順1)

本機と接続したいBluetoothデバイスのBluetooth設定をONにし、周辺検索します。

検索する機器名称は「AZ-921」となります。本機から接続したいデバイスをサーチする場合には、真ん中のサーチボタン をタッチします。

### 手順2)

Bluetoothデバイス側に「AZ-921」と表示されたら、デバイス側の指示に従い、ペアリングコードを入力してください。本機から接続したいデバイスを接続する場合に、右のデバイスを選択し、ペアリングボタン をタッチして、デバイス側の指示に従って、操作してください。

### 手順3)

操作した後、ペアリングが成功すると、Bluetooth基本画面に切り替わります。

### ⚠️ ご注意

※Bluetoothデバイスが初めて本機を検索する時には時間がかかります。

※本機は一部のBluetoothオーディオプレーヤーでは正しく動作できない場合があります。

※本機とスマートフォン/オーディオプレーヤーとの互換性については保証致しかねます。



## Bluetoothを使う（つづき）

### Bluetoothデバイスの接続手順

手順4)

Bluetooth接続画面で接続しているデバイスの名前をタッチして、「接続解除」ボタンをタッチすると、デバイスの接続を解除します。

手順5)

Bluetooth接続画面で接続済のデバイスから接続をしたいデバイス名を選択、「接続」ボタンをタッチすると、デバイスの接続をします。

手順6)

Bluetooth接続画面で接続済のデバイスから削除したいデバイス名を選択、「ゴミ箱」ボタンをタッチすると、接続済のデバイスを削除します。

#### △ご注意

※本機とBluetoothデバイスの接続範囲は約10mです。

※接続する携帯電話によっては、正しく通話できないことがあります。

※Bluetoothデバイス側からの検索やペアリングが正常に行われない場合は本機から周辺検索を試してください。

### Bluetooth電話モード画面

ペアリングが完了している場合、メインメニューから「Bluetooth」ソースアイコンをタッチすると、Bluetoothモードの基本画面に切り替わります。



## Bluetoothを使う（つづき）

- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。

- 2 デバイス名表示  
本機と接続されているデバイス名が表示されます。

 ご注意 ※デバイスにより、正しく表示されない場合があります。

- 3 テンキーボード  
番号入力を行います。

- 4 時刻表示  
現在の時刻を表示します。

- 5 Bluetoothアイコン  
このアイコンをタッチすると、Bluetoothのサーチ画面が表示されます。Bluetooth接続されている状態は青色で、接続解除状態は灰色となります。

- 6 発信ボタン  
番号入力後、このボタンをタッチして発信します。

- 7 削除ボタン  
テンキーの入力内容を削除することができます。  
短くタッチすると1文字ずつ削除し、1秒以上タッチすると入力されている番号を一括で削除できます。

- 8 ダイヤルボタン  
このボタンをタッチすると、テンキー入力画面が表示されます。

- 9 電話帳ボタン  
接続中の携帯電話に保存されている電話帳が表示されます。  
ダイヤルしたい相手先をタッチして「発信」ボタンでダイヤルします。

- 10 通話履歴ボタン  
本機と接続されている携帯電話の発信/着信/不在着信を表示します。

 ご注意

※電話帳・通話履歴表示は、接続されている携帯電話と同期を行う必要があります。  
※本機と携帯電話がペアリングされ、同期を許可すると自動的に通話履歴を同期します。  
※初回接続時は同期するまでに数分かかることがあります。

- 11 このボタンをタッチするとBluetooth音楽画面が表示されます。

 ご注意

※接続されているデバイスに音楽データがある場合に再生できます。

- 12 設定ボタン  
Bluetoothの設定画面を表示します。

## Bluetoothを使う（つづき）

### 電話をかける場合（発信）

テンキーや電話帳、発着信履歴から選択した番号に発信することができます。発信された場合は以下の発信画面に切り替わります。

※携帯電話本体を操作して発信することも可能です

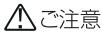


#### ① 発信情報表示

発信先の情報を表示します。

#### ② 消音ボタン

このボタンをタッチすると、本機のマイクをミュートします。相手にこちらの声が聞こえなくなります。



ご注意

※本機のスピーカーを消音するときは、音量調整ボタンで操作してください。

#### ③ マイク切替ボタン

本機のマイクと携帯電話のマイクを切り替えます。

#### ④ ダイヤルボタン

このボタンをタッチすると、テンキー入力画面が表示されます。

#### ⑤ 終話ボタン

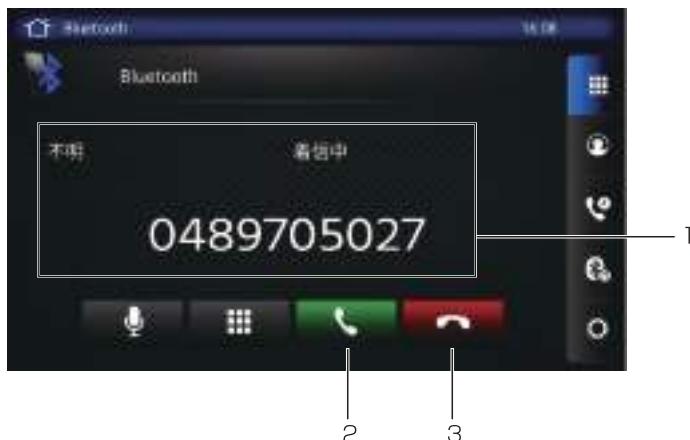
発信をキャンセルします。

## Bluetoothを使う（つづき）

### 電話を受ける場合（着信）

着信があった場合、着信画面に切り替わります。

※自動応答設定がONになっている場合、着信から数秒経過後に自動的に応答することができます



- 1 着信情報表示  
着信中の情報を表示します。
- 2 着信ボタン  
このボタンをタッチすると受話することができます。
- 3 終話ボタン  
このボタンをタッチすると電話を終了することができます。

## Bluetoothを使う（つづき）

### 通話中の場合

通話を開始すると、通話画面に切り替わります。



#### 1 発信情報表示

発信先の情報を表示します。

#### 2 消音ボタン

このボタンをタッチすると、本機のマイクをミュートします。相手にこちらの声が聞こえなくなります。



※本機のスピーカーを消音するときは、音量調整ボタンで操作してください。

#### 3 マイク切替ボタン

本機のマイクと携帯電話のマイクを切り替えます。

#### 4 ダイヤルボタン

このボタンをタッチすると、テンキー入力画面が表示されます。

#### 5 終話ボタン

発信をキャンセルします。

## Bluetoothを使う（つづき）

### Bluetooth設定画面

画面右下の設定ボタンをタッチすると、以下のBluetooth設定画面が表示されます。



- 1 **自動応答**  
着信後、数秒経過すると自動的に応答することができます。
- 2 **自動接続**  
接続が切断されたり、システムが再起動した場合、本機が自動的にBluetooth デバイスへの再接続を実行します。
- 3 **Bluetooth接続**  
Bluetoothデバイスとの接続をオンオフできます。

## Bluetoothを使う（つづき）

### Bluetooth 音楽の画面

ペアリングが完了している場合、「音楽」ボタンをタッチすると、Bluetooth 音楽画面に切り替わります。



- 1 ホームボタン  
メインメニュー画面に戻ります。
  - 2 Bluetoothアイコン  
このアイコンをタッチすると、Bluetoothのサーチ画面が表示されます。Bluetooth接続されている状態は青色で、接続解除状態は灰色となります。
  - 3 デバイス名表示  
本機と接続されているデバイス名が表示されます。
- ⚠️ ご注意** ※デバイスにより、正しく表示されない場合があります。
- 4 時刻表示  
現在の時刻を表示します。
  - 5 前へ/次へボタン  
前または次の曲に移動します。  
※早送り/早戻しには対応していません。
  - 6 再生/一時停止ボタン  
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生が開始します。
  - 7 EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。
  - 8 情報表示  
再生中のトラック情報が表示されます。  
※接続機器により、情報表示が正しくない場合や情報表示されない場合があります。

## Bluetoothを使う（つづき）

### △ご注意

- ※AVプロファイルの種類やバージョンにより、表示される内容が異なる場合があります。
- ※接続されているBluetooth機器によっては、再生音が音飛びする場合があります。
- ※接続されているBluetooth機器によっては、再生が開始されない場合がありますので、その場合は、接続されているBluetooth機器側から再生の操作を行ってください。
- ※接続プロファイルによって、選曲操作ができない場合があります。
- ※Bluetooth機器側の仕様や操作については、製造元にお問い合わせください。
- ※発着信音量と通話音量は、共通の音量となっています。
- 発着信中もしくは通話中に音量調整を行うと、発着信音量と通話音量は連動して調整されます。

### Bluetoothについて

Bluetoothとは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用してBluetooth 対応機器を通して通信できます。

本機では、Bluetooth に対応する携帯電話及びオーディオ機器を接続して利用できます。利用するには本機に登録（ペアリング）する必要があります。

## メディアを再生する

### DVD再生画面

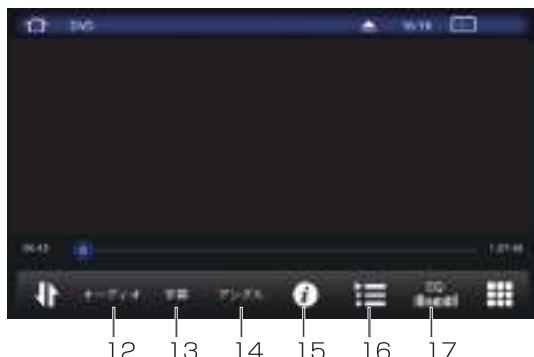
DVDが挿入されている場合、メインメニュー画面の「CD/DVD」アイコンをタッチすると、DVD画面が表示されます。

- コントロールパネルについて  
操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。  
コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。
- 走行規制について  
走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中でパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。

【ページ1】



【ページ2】



## メディアを再生する(つづき)

- ① ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- ② イジェクトボタン  
このボタンをタッチするとディスクを取り出せます。
- ③ 時計表示  
現在の時刻を表示します。
- ④ PIPボタン  
DVDとナビの2画面表示に切り替えます。
- ⑤ プログレスバー  
再生時間を表示します。任意の場所をタッチすると早送り/早戻しができます。
- ⑥ 操作切り替えボタン  
このボタンをタッチすると操作バーの切り替えができます。
- ⑦ 早送り/早戻しボタン  
早送り/早戻しを行います。ボタンを押す毎に速度を変更できます。  
再生ボタンを押すと解除されます。  
切り替え速度：×2、×4、×8、×16
- ⑧ 前へ/次へボタン  
前または次のチャプターに移動します。
- ⑨ 再生/一時停止ボタン  
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生が開始します。
- ⑩ リピートボタン  
リピート設定を行います。ボタンを押す毎にモードを変更できます。  
リピートモード：チャプター、タイトル、オール、リピートオフ
- ⑪ GoToボタン  
テンキー画面が表示されます。  
タイトル、チャプターモードで再生したい番号をテンキーで入力します。



※ディスクによっては、字幕ボタン、情報ボタン、音声ボタンは表示されない場合があります。

## メディアを再生する(つづき)

- ⑫ オーディオボタン  
ディスクに2種類以上の音声または音声言語が収録されている場合、再生中に音声を切り替えることができます。
- ※ディスクにより音声切り替えがない場合があります。  
※音声の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ⑬ 字幕ボタン  
字幕言語が切り替わります。  
このボタンをタッチするたびに、字幕言語を切り替えることができます。
- ※ディスクにより字幕言語切替ができない場合があります。  
※字幕言語の切り替えに多少時間がかかる場合があります。
- ⑭ アングルボタン  
ディスクがマルチアングル対応であれば、このボタンをタッチするたびに、各アングルに切り替えることができます。
- ⑮ 情報ボタン  
ディスクの情報が表示されます。
- ⑯ メニューボタン  
再生中にこのボタンをタッチすると、タイトルメニューの画面が表示されます。
- ※タイトルメニューが表示されないディスクもあります。
- ⑰ EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。

### △ご注意

※USBビデオ・DVD・TVソースを視聴中に液晶を縦画面にするとリヤモニターへの映像出力ができません。  
リヤモニターへ映像出力する場合は、縦画面を解除するか、ホーム画面または地図画面に切替えるとリヤモニターへの映像出力が可能となります。

## メディアを再生する(つづき)

### CD再生画面

CDが挿入されている場合、CDを再生することができます。



- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- 2 情報表示  
CD-Rなどメディア情報（タグデータ）が書き込まれたディスクの場合、アーティスト名/アルバム名/曲名が表示されます。  
※ディスク情報が認識できない場合は「Unknown」表示されます。
- 3 イジェクトボタン  
このボタンをタッチするとディスクを取り出せます。
- 4 時計表示  
現在の時刻を表示します。
- 5 PIPボタン  
CDとナビの2画面表示に切り替えます。
- 6 プログレスバー  
再生時間を表示します。任意の場所をタッチすると早送り/早戻しができます。
- 7 前へ/次へボタン  
前または次のトラックに移動します。  
長押しすると、早戻し/早送りします。タッチストップすると、通常再生をします。
- 8 トラックNo.  
再生しているトラック番号を表示します。

## メディアを再生する(つづき)

- 9 再生/一時停止ボタン  
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生が開始します。
- 10 リストボタン  
再生しているディスクのリストを表示します。  
再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- 11 GoToボタン  
テンキー画面が表示されます。  
再生したいトラック番号をテンキーで入力します。  
再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- 12 リピートボタン  
リピート設定を行います。ボタンを押す毎にモードを変更できます。  
リピートモード：シングル、フォルダ（※）、オール、リピートオフ  
※CD-ROMの場合のみ
- 13 ランダムボタン  
ランダム再生を行います。
- 14 EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。

## メディアを再生する(つづき)

### USBリスト画面

USBデバイスが挿入されている場合、デバイス内の音楽や動画を再生することができます。



- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- 2 ミュージックフォルダ  
USBデバイス内に保存されている音楽を表示します。
- 3 ビデオフォルダ  
USBデバイス内に保存されている動画を表示します。
- 4 時計表示  
現在の時刻を表示します。
- 5 フォルダ内の音楽/動画を頭文字で検索できます。  
※英語のみ対応
- 6 再生ボタン  
再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- 7 リピートボタン  
リピート設定を行います。ボタンを押す毎にモードを変更できます
- 8 ランダムボタン  
ランダム再生を行います。
- 9 GoToボタン  
テンキー画面が表示されます。
- 10 EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。

## メディアを再生する(つづき)

USBミュージック画面



- 1 ホームボタン  
AVホーム画面に戻ります。
- 2 情報表示  
再生しているファイル情報が表示されます。  
※ファイルのデータ（タグ）情報が認識できない場合は「Unknown」表示されます。
- 3 時計表示  
現在の時刻を表示します。
- 4 プログレスバー  
再生時間を表示します。任意の場所をタッチすると早送り/早戻しができます。
- 5 前へ/次へボタン  
前または次のファイルに移動します。  
長押しすると、早戻し/早送りします。タッチストップすると、通常再生をします。
- 6 ファイルNo.  
再生しているファイル番号を表示します。
- 7 再生/一時停止ボタン  
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生が開始します。
- 8 リストボタン  
再生しているのリストを表示します。  
再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- 9 リピートボタン  
リピート設定を行います。ボタンを押す毎にモードを変更できます。  
リピートモード：シングル、フォルダ、オール、リピートオフ

## メディアを再生する(つづき)

- ⑩ ランダムボタン  
ランダム再生を行います。  
ランダムモード：フルダ、オール、ランダムオフ
- ⑪ GoToボタン  
テンキー画面が表示されます。  
再生したいファイル番号をテンキーで入力します。  
再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。
- ⑫ EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。



※USBビデオ・DVD・TVソースを視聴中に液晶を縦画面にするとリヤモニターへの映像出力ができません。  
リヤモニターへ映像出力する場合は、縦画面を解除するか、ホーム画面または地図画面に切替えるとリヤモニターへの映像出力が可能となります。

## メディアを再生する(つづき)

### USBビデオ画面

USBメディアが挿入されている場合、メインメニュー画面の「USB」アイコンをタッチすると、USB画面が表示されます。

#### ■ コントロールパネルについて

操作をしない状態が数秒経過すると、コントロールパネルが非表示となります。  
コントロールパネルを表示させたい場合は、画面をタッチします。

#### ■ 走行規制について

走行中は安全のため、画面に映像が表示されません。停車中にパーキングブレーキをかけている時に映像を観ることができます。



#### 1 ホームボタン

AVホーム画面に戻ります。

#### 2 ファイル名

再生しているファイル名が表示されます。

#### 3 時計表示

現在の時刻を表示します。

#### 4 プログレスバー

再生時間を表示します。任意の場所をタッチすると早送り/早戻しができます。

#### 5 リストボタン

再生しているのリストを表示します。

再度ボタンを押すと再生画面に戻ります。

#### 6 ランダムボタン

ランダム再生を行います。

ランダムモード：フォルダ、オール、ランダムオフ

## メディアを再生する(つづき)

- 7 前へ/次へ（早送り/早戻し）ボタン  
短押し：前へまたは次のファイルに移動します。  
長押し：タッチし続けると早送り/早戻しされます。
- 8 再生/一時停止ボタン  
再生中にタッチすると一時停止となり、一時停止中にタッチすると再生が開始します。
- 9 リピートボタン  
リピート設定を行います。ボタンを押す毎にモードを変更できます。  
リピートモード：シングル、フルダ、オール、リピートオフ
- 10 EQ設定ボタン  
音響効果を設定します。

# オーディオ設定

## EQ設定

各画面の「EQ設定ボタン」をタッチすると、以下のEQ（イコライザー）設定画面に切り替わります。



**1 ホームボタン**

AVホーム画面に戻ります。

**2 時計表示**

現在の時刻を表示します。

**3 EQプリセットモードボタン**

各プリセットをタッチすることでイコライザーを選択することができます。

お好みのイコライザー設定にする場合は「ユーザー」を選択し、各周波数のメモリをタッチして調整します。

<EQプリセット>

ユーザー/フラット/クラシック/ポピュラー/ロック/ジャズ/軽音楽/ニュース/ローカルダンス/シネマ

**4 リセットボタン**

このボタンをタッチすると、オーディオ設定画面のすべての設定値を工場出荷状態に戻します。

**5 Fader/Balanceボタン**

フェーダー/バランス設定画面に切り替わります。

## オーディオ設定

### FAD/BAL設定

上下左右の各ボタンをタッチすることで、前後左右のスピーカーバランスを調整することができます。



# 本体設定

## システム設定

AVホーム画面の「設定ボタン 」をタッチすると、本体設定画面に切り替わります。



### 1 日付と時刻

本機に表示する時刻を設定します。日時をタッチすると設定画面が表示されます。各設定項目を上下スライドして「はい」をタッチすると決定できます。  
※「日付と時刻の自動同期」がオンになっている場合設定できません。

### 2 24時間表示

12時間表示と24時間表示を設定します。

### 3 日付と時刻の自動同期

本機で取得するGPS時間と同期する/同期しないを設定します。

### 4 言語設定

表示する言語を設定します。

### 5 ディスク設定

パレンタルコントロールのパスワードとレベル制限を設定します。

## 本体設定(つづき)



### 【パスワード設定方法】

ディスク設定の「鍵ボタン」をタッチすると、パスワード入力画面が表示されます。パスワード「1234」を入力し「確定」ボタンをタッチすると、鍵ボタンが開いた状態になります。

鍵ボタンをタッチし、4桁の新しいパスワードを入力し確定ボタンを押します。

再度パスワード入力画面が表示されますので、同じパスワードを入力し確定ボタンを押すと設定が完了します。

### ●Rating Level設定

パレンタル（視聴制限）レベルを設定します。DVDのパレンタルレベルの制限内容は国によって異なります。

Kid Safe	子供向け
G	一般向け
PG	保護者の手引きが必要
PG-13	保護者の厳重な注意が必要
PG-R	保護者の制限が必要
R	保護者の同伴が必要
NC-17	17歳未満は鑑賞禁止
ADULT	成人向け

### △ご注意

※視聴制限が設定されたディスクを再生する時にパスワードの入力画面が表示されることがあります。その場合、正しいパスワードを入力しないと、再生は開始しません。

※パスワードを忘れた場合、確定ボタンを10回タッチすると、パスワードをリセット（1234）に戻します。

## 本体設定(つづき)

### PIP機能 (TV/CD/DVD)

TVまたはCD/DVD画面でメインメニューの「PIPボタン」をタッチすると、2画面表示に切り替わります。

※TVまたはCD/DVDのみ2画面表示対応となります。



左側にTVまたはCD/DVD、右側に地図画面が表示されます。

- ①の▶ボタンをタッチすると、TVまたはCD/DVDが全画面に表示されます。
- ②の◀ボタンをタッチすると、地図が全画面に表示されます。

## 本体設定(つづき)

### PIP機能 (TV/CD/DVD)

地図画面で「PIPボタン」をタッチすると、2画面表示に切り替わります。

※TVまたはCD/DVDのみ2画面表示対応となります。

※自車位置が現在地にある場合のみPIPボタンが表示されます。



PIPボタン—

## 本体設定(つづき)

### オーディオ設定

設定画面で「オーディオボタン」をタッチすると、オーディオ設定画面に切り替わります。



#### 1 ビープ音（操作音）

ビープ音のオン/オフを切り替えます。

#### 2 パック時音声設定

パック（リバース）時、再生しているAVソースの音量を設定することができます。

- ・フル : AVソースの音量は変化しない
- ・ハーフ : AVソースの音量が50%
- ・ミュート : AVソースの音量がミュート（音声出力なし）

## 本体設定(つづき)

### ディスプレイ設定

設定画面で「ディスプレイボタン」をタッチすると、オーディオ設定画面に切り替わります。



- ① 昼間の明るさ  
画面のバックライトを調整します。  
調整範囲 : 0~20
- ② 夜間の明るさ  
画面の明るさを調整します。  
調整範囲 : 0~20
- ③ 明るさモード設定  
昼間／夜間／自動モードを調整します。
- ④ バックガイドライン設定  
バックカメラガイドラインのオン／オフ設定ができます。
- ⑤ バックカメラ設定  
バックカメラの画面を表示します。  
※バックカメラ起動時はハードボタンの操作はできません  
※Bluetooth電話にて通話時、バックカメラを起動させると「バック時音量設定」に依存します

## 本体設定(つづき)

### その他設定

設定画面で「その他ボタン」をタッチすると、他の設定画面に切り替わります。



#### ① バージョン

現在のソフトウェアバージョン情報が表示されます。

#### ② 工場出荷設定

工場出荷設定に戻る確認の画面が表示されます。

「はい」ボタンをタッチすると、本体が再起動してすべての設定が工場出荷状態に戻ります。

#### ③ ステアリングリモコン

各機能を車両のステアリングリモコンに割り当てることができます。

お好みの割り当て設定が完了すると、ステアリングリモコンから再生や音量調整などを操作することができます。

#### ④ MCU更新 : MCUの更新画面が表示されます。

#### ⑤ TV更新 : TVの更新画面が表示されます。

## 本体設定(つづき)

### ステアリングリモコン設定



#### 【設定方法】

1. 本体とステアリングリモコンの接続を確認してください。
  2. 「ステアリングリモコン」をタッチしてください。
  3. 「設定」をタッチします。
  4. アイコンが1つずつ点灯しますので、車両側の割り当てたいボタンを押すとアイコンがグレーになります。
- すべて割り当てた後、「保存」ボタンを押し登録完了となります。

\*設定する前にはステアリングコントロール線を繋げてください

#### <本機で設定可能なボタン>

- ・ SRC (ソース) ボタン
- ・ ミュート (消音) ボタン
- ・ 前へ/次へボタン
- ・ 音量+/音量-ボタン
- ・ 終話ボタン
- ・ 受話ボタン/音声認識ボタン

#### ⚠ ご注意

\*車種により割り当たが対応できないキーがあります。

\*初期設定に戻したいときは、「設定」ボタンをタッチしてください。

## Apple CarPlayを使用する

### iPhoneを接続する

本機にiPhoneを接続しApple Carplayを使用することができます。  
Apple CarPlayの詳細については下記のサイトにてご確認ください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

手順1) iPhoneと本機を純正のUSBケーブルで接続してください。

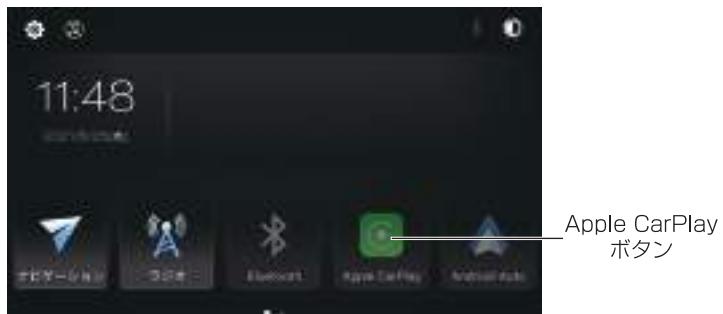


※USBケーブルは必ず「充電用」のUSBポートに差し込んでください。

「メディア用」に差し込んでもCarPlayは使用できません。

手順2) iPhoneのロックを解除してください。

手順3) 接続が完了すると、メインメニューの「Apple CarPlay」ボタンがアクティブ（ソースON状態）になりますので、ボタンをタッチしてください。



Apple CarPlayソースからAVホーム画面に戻る



「CarHome」ボタンをタッチしてAVホーム画面に戻ります。

## Apple CarPlayを使用する（つづき）

### Siriを使用する

本体の「VOICE」ボタンを押すと、Siriを起動できます。



ご注意

※iPhoneやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示できない場合があります。

※Apple CarPlayについての詳細は、Apple CarPlayサポートサイトをご確認ください。

<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>

## Android Auto™を使用する

### Androidスマートフォンを接続する

本機にAndroidスマートフォンを接続し、Android Auto™を使用することができます。  
Android Auto™の詳細については、下記のサイトをご確認ください。

<https://www.android.com/auto/>  
<https://support.google.com/androidauto>

手順1) Androidスマートフォンと本機を純正のUSBケーブルで接続してください。

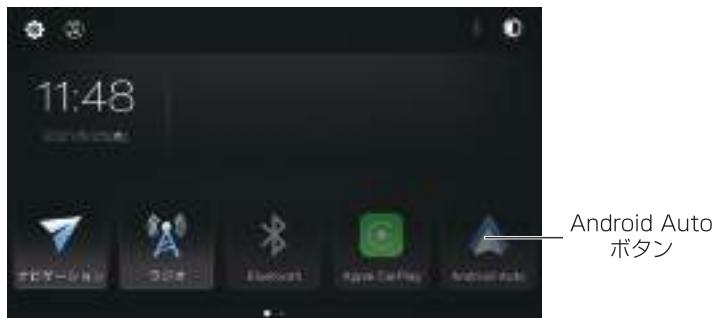


ご注意

※USBケーブルは必ず「充電用」のUSBポートに差し込んでください。  
「メディア用」に差し込んでもAndroid Auto™は使用できません。

手順2) Androidスマートフォンのロックを解除してください。

手順3) 接続が完了すると、メインメニューの「Android Auto」ボタンがアクティブ（ソースON状態）になりままで、ボタンをタッチしてください。

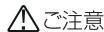


Android Auto™ソースからAVホーム画面に戻る

「Mmauto」ボタンをタッチしてAVホーム画面に戻ります。

### 音声認識アプリを使用する

本体の「VOICE」ボタンを押すと、音声認識アプリを起動できます。



ご注意

※スマートフォンやアプリの仕様によっては、本機の画面に表示出来ない場合があります。

※Android Auto™は、Android OSを最新にしたスマートフォンでご使用ください。

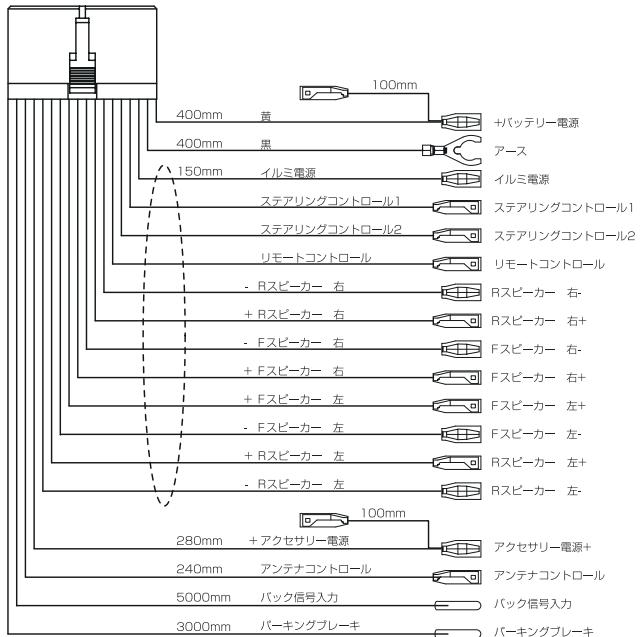
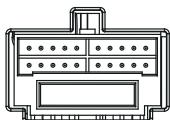
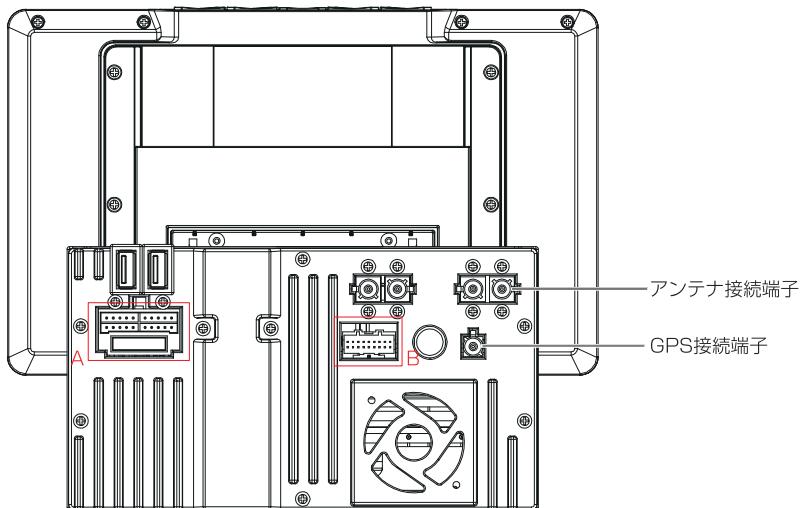
※システム設定メニューの入力/出力設定でUSB MTPをオンに設定している場合は、  
Android Auto™は使用できません。

※Android Auto™を使用する場合は、スマートフォンへの専用アプリのインストールが必要です。

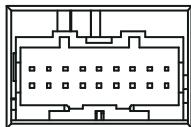
※Android Auto™についての詳細は、Android Auto™サポートサイトをご確認ください。

<https://www.android.com/auto/>  
<https://support.google.com/androidauto>

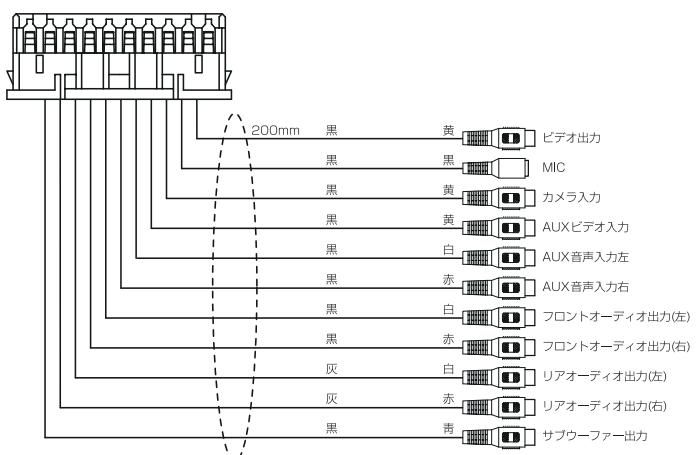
## 電源・ケーブルの接続方法



## 電源・ケーブルの接続方法(つづき)



B-外部入出力ケーブル



### △リヤモニター使用時の注意

- ※リヤモニターにはLCD横画面時、ミラーリングされた状態で映像出力がおこないますが、「USBビデオ・DVD・テレビ」のみは、リヤモニターへの映像出力が固定されます
- ※走行時は「USBビデオ・DVD・テレビ」ソースのみリヤモニターへ映像出力されます
- ※走行時はVTRソースのみリヤモニターでの視聴をすることはできません
- ※縦画面時のリヤモニター出力はP14,28,33を参照してください

## GPSアンテナの取り付け

GPSアンテナは車内専用となります。

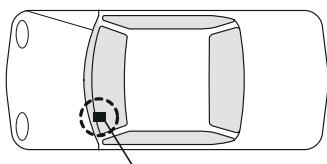
GPSアンテナは車載機器（※1）および各アンテナ類（※2）から50cm以上離して設置してください。

車載機器や各アンテナ類の近くに取り付けると、GPSが正常に機能せず、電波を受信しにくくなったり、誤動作を起こす可能性があります。

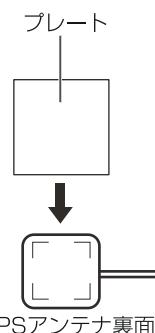
※1 ETC車載器、ビーコンユニット、カーオーディオ機器、レーダー探知機、ドライブレコーダーなど

※2 TVアンテナ、ETCアンテナなど

電波の遮られにくい、平らな場所に設置してください。



推奨取り付け位置

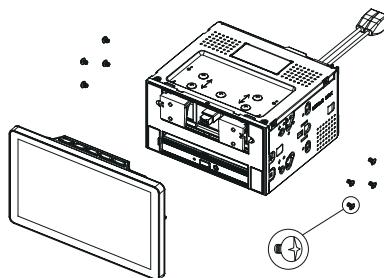


GPSアンテナ裏面

付属のプレートの上にGPSアンテナを固定してください。

# 本体の設置方法

## 本体の設置方法



- 1 車両に付属のブラケットのネジ穴に合わせて取付位置を選び、付属の固定用ネジで取り付けます。
- 2 車両の元の位置に取り付けします。

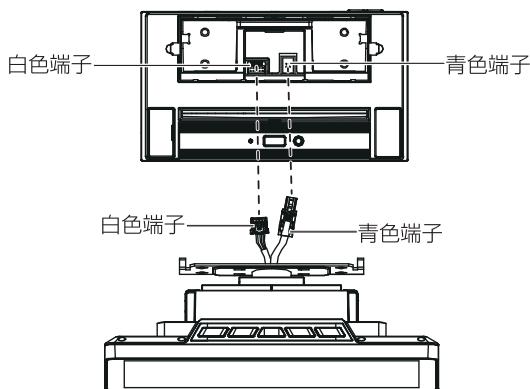
※モニターは車両側のパネルを戻し終わってから最後に装着します。  
※取り付けは水平に対して、30度以下の角度に取り付けてください。  
※フェイスパネルの形状によっては、可動部分が干渉する可能性があります。慎重に確認のうえ、取り付けてください。  
※フェイスパネル（ワイドパネル）、ブラケットの形状によっては、付属のネジで取り付けられないことがあります。付属の固定ネジ以外で取り付ける場合は、ネジ部を5mm以上ねじ込まないでください。

### ⚠ ご注意

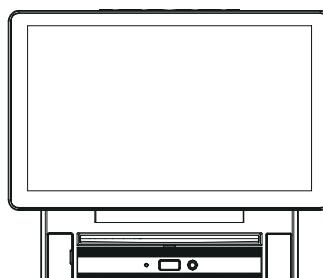
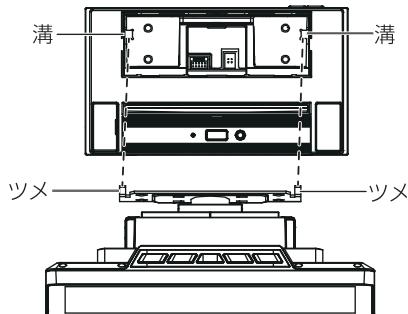
※本機の黒リード線（アース）を必ず最初に車のボディ金属部に接続してください。  
この時、緩みがないよう、確実に取り付けてください。また、パワーアンプ等の消費電力の大きい製品のアースとは別の場所に取り付けてください。一か所に集中して取り付けると、ネジの緩みや外れる可能性があり、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。  
※アースの取り付け方によっては、動作が不安定になる場合がありますので、その場合は、アースの取り回しをご確認ください。  
※必ず付属されている部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると故障する恐れがあります。  
※コネクターは“カチッ”と音がするまで押し込み確実に接続してください。  
※コネクターを取り外す際は、コネクタ部分のロックを押しながら引き抜いてください。  
無理に引っ張るとコードが切断される可能性があります。

## モニターの取り付け方法

- 1 モニターのコネクターを本体のコネクター差入口に2か所差込みます。  
先に奥側の青色端子から差し込み、次に白色端子を差し込みます。

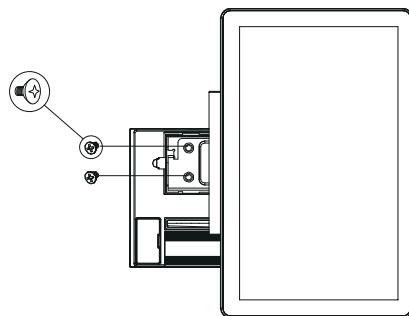


- 2 モニター側のツメを本体側の溝に併せて仮装着します。

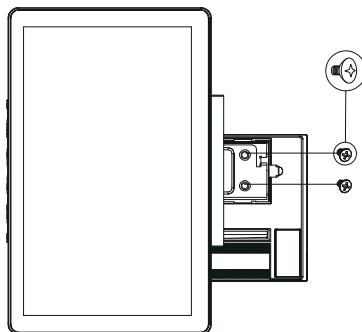


## モニターの取り付け方法

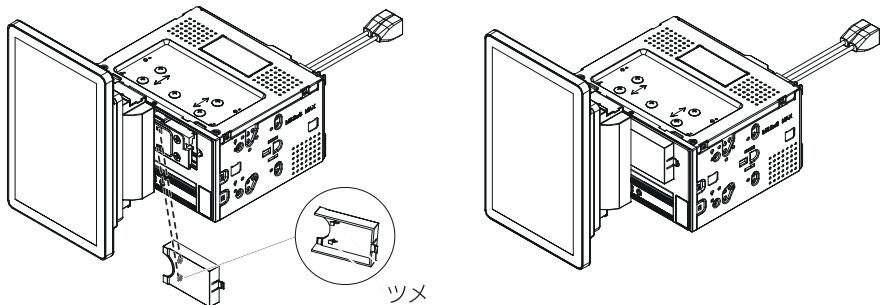
- ③ モニターを右に90° 回転させ、図のように付属のネジを取り付けます。



- ④ モニターを左に90° 回転させ、図のように付属のネジを取り付けます。



- ⑤ モニターアームカバーを取り付けます。2か所のツメを穴に差した後、手前を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



## フィルムアンテナについて

次のようなところでは、映像が受信しにくいたる場合は受信できない場合があります。

- ビルとビルの間を走行または停車している場合
- 上空を飛行機または電車が近くを通過している場合
- 送電線の付近を走行している場合
- テレビ局の電波塔から遠いところを走行している場合
- 山かけや木立の陰に入り走行している場合
- トンネル内や鉄橋を走行している場合
- 地下や高架下等を走行または停車している場合
- ラジオ、アマチュア無線/業務用無線の送信アンテナの近くを走行、または自ら発信しているとき
- 車両搭載機器（※）が作動している場合、ノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。  
※電動ドアミラー/パワーウィンドウ/エアコン/HIDランプ/電動カーテン/電動サンルーフ/ドライブレコーダー/レーダー探知機/車載用モニターなど

### 貼り付ける際の注意点

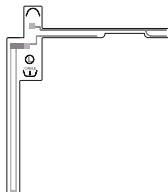
- フィルムアンテナ、アンプ、ケーブルをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性のもので拭かないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、傷をつけたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスを拭くなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカー剥がし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 一度貼り付けると、エレメントの素子破損や粘着力が低下するため、貼り直できません。アンテナを貼る前に必ずコード及びアンテナを仮止めし、コードの引きまわしなどを十分に検討してから貼り付けてください。
- 必ずフロントウインドウの指定の位置、寸法内に正しく貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。
- フロントウインドウ（内側）の汚れ（ゴミ、ホコリ、油など）や、くもり止めや水分などをアルコール等できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かない場合は貼り付けないでください。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- フィルムアンテナやはくり紙などを剥がした面には手で触れないでください。また長時間の放置はしないでください。汚れや汗または静電気による故障や接触不良の原因になります。
- ガラス面が結露したり気温が低いときは貼りつかなくなります。湿度が高いときはエアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどで貼り付け部分を暖めて、結露しないことを確認してから貼り付けてください。

# フィルムアンテナの構成

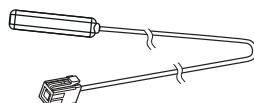
## セット部品一覧

本機はフィルムアンテナが4セット（フィルム4枚/ケーブル4本）付属しています。

フィルムアンテナ×4

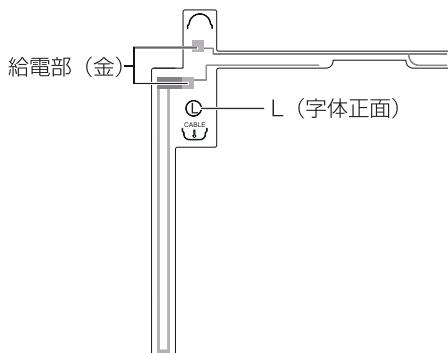


アンテナケーブル×4

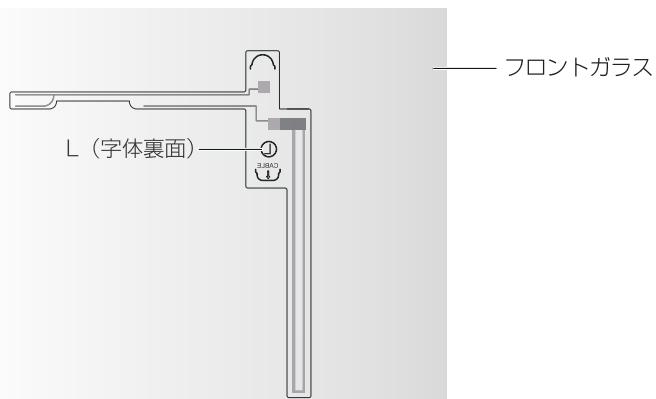


## フィルムアンテナ構造

車室内側：「L」「R」の文字が通常に確認できる面が車の内側になります。

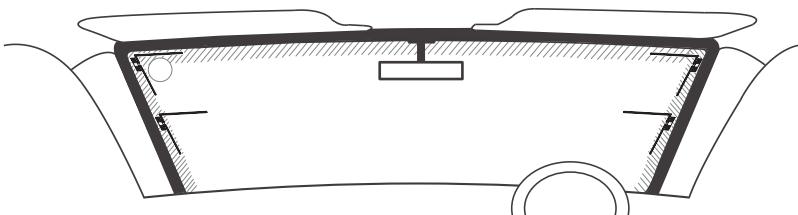


フロントガラス側：「L」の文字が反対になる面がフロントガラス側になります。



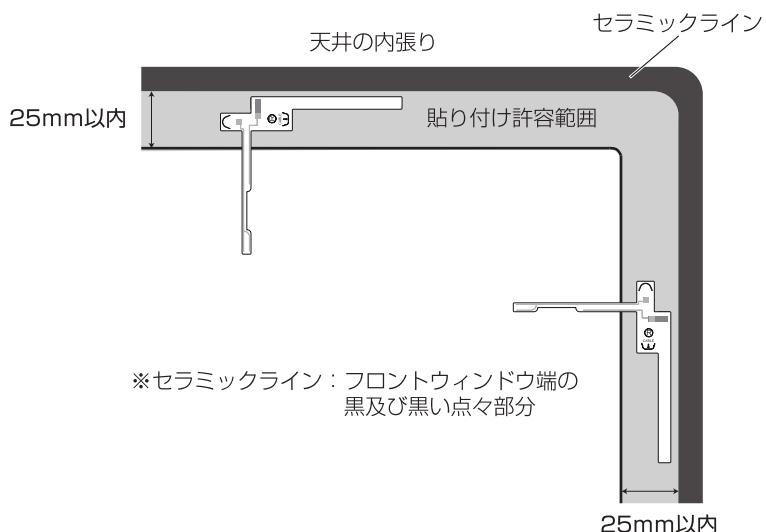
## フィルムアンテナの貼り付け位置について

- アンテナは点検シール、検査標章などに重ねないでください。
- 受信感度低下を防ぐために、他のアンテナやETC受光部から2cm以上離して貼り付けてください。
- アンテナの給電部及びアンプ部は、セラミックラインまたは内張りに重ならないように、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。
- 推奨貼り付け位置



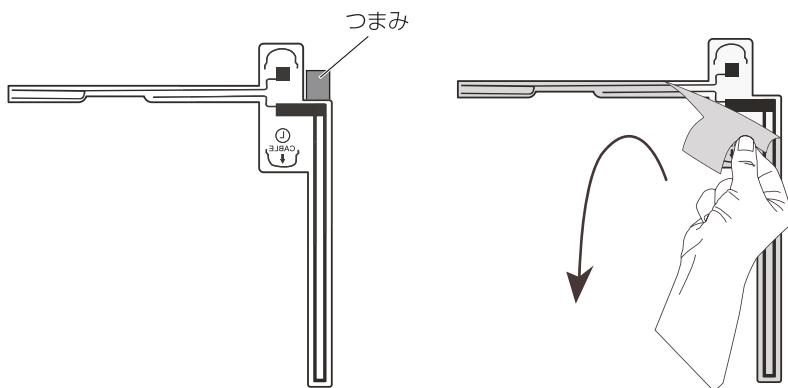
### 貼付許容範囲

フィルムアンテナの給電部及アンプ部は必ず「セラミックラインより内側25mmの範囲」に貼り付けてください。

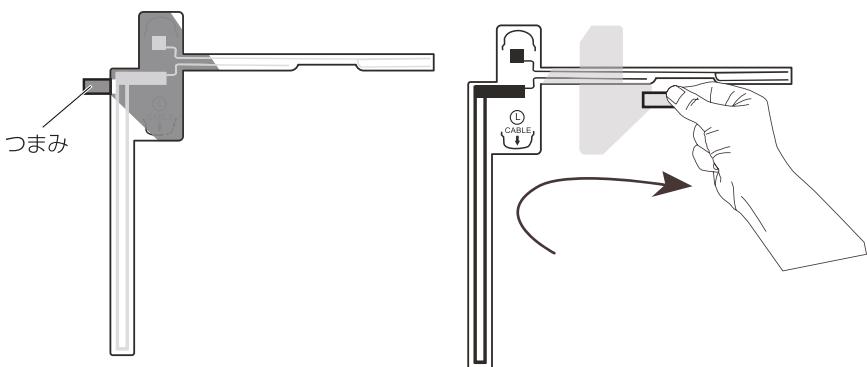


## フィルムアンテナを貼り付ける

- 1 フィルムアンテナ背面テープのつまみ部分をもってセパレーターをはがし、あらかじめ決めた位置に貼り付けてください。



- 2 フィルムアンテナ全体をなぞるようにして、ガラス面に密着させてください。  
3 フィルムアンテナ正面のつまみ部分を持って、セパレーターをはがしてください。



**△ご注意**

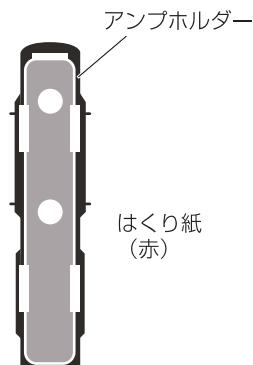
フィルムアンテナの貼り直しは粘着力が弱くなるほか、アンテナ自体が破損する恐れがあるためおやめください。

## アンプホルダーを給電部に貼り付ける

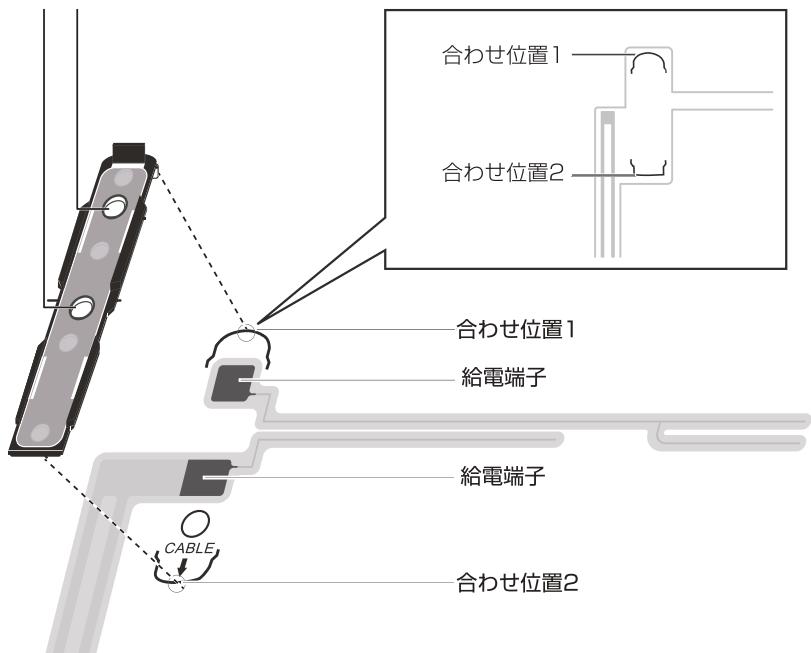
① アンプホルダー裏面のはくり紙をはがします。

② フィルムアンテナの給電端子部にアンプホルダーを貼り付けてください。

アンプホルダーの「上端」と「下端」がそれぞれ  
フィルムアンテナの「合わせ位置1」「合わせ位置2」  
と合うように取り付けます。

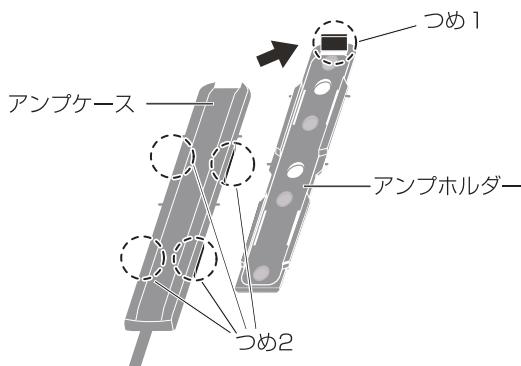


この穴から給電端子が見えることを  
確認してください。

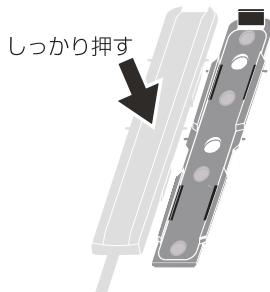


## アンテナケーブルを固定する

- ③ アンプホルダーのつめ1にアンプケースの先端をひっかけて、それを支点にしてつめ2を固定します。



※「カチッ」と音がなるまでアンプケースを押して、つめ2をしっかりと固定します。



- ④ 付属のケーブルクランパーでケーブルを固定してください。

- ⑤ アンテナ端子を本体背面の端子と接続してください。

△ご注意

※アンテナ線は引っ張らないでください。アンプホルダーに負荷がかかり外れる原因となることがあります。  
※ピラーにエアバッグが装着されている車両では、エアバッグの妨げにならないように設置してください。

# トラブルシューティング

トラブルシューティング 一般		
症状	原因	こうしてください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源ケーブルは正しく接続されていますか？</li> <li>・ヒューズは切れていませんか？</li> <li>・他の機器のノイズを受けていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配線を確認してください</li> <li>・ヒューズを交換してください</li> <li>・本機から他の機器を離してください</li> </ul>
再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクが汚れていませんか？</li> <li>・この機器に対応したディスクですか？</li> <li>・ディスクは正しく挿入されていますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクをクリーニングしてください</li> <li>・ディスクを確認してください</li> <li>・ディスクの上下を確認してください</li> </ul>
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュート（消音）になっていませんか？</li> <li>・配線は正しいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミュートを解除してください</li> <li>・配線を確認してください</li> </ul>
音量が小さい	・ボリュームが小さくないですか？	・音量を上げてください
前または後ろのスピーカーから音が出ない	・前後のバランスは0になっていますか？	・EQ設定の「FAD/BAL」を確認してください
左または右のスピーカーから音が出ない	・左右のバランスは0になっていますか？	・EQ設定の「FAD/BAL」を確認してください
液晶のドット欠け		・液晶ディスプレイは精密度の高い技術で作られており、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットがある場合がありますが、これは故障ではありません。
トラブルシューティング FM/AM		
症状	原因	こうしてください
電波が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを接続していますか？</li> <li>・LCD/DX機能は設定していますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを接続してください</li> <li>・「DX」を選択してください</li> </ul>
トラブルシューティング DVD/USB		
症状	原因	こうしてください
再生できない	・ディスクメインメニュー画面ではないですか？	チャプターを選択してください
走行規制画面になる	・パーキング線は接続されていますか？	パーキング線の接続を確認してください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリュームが小さくないですか？</li> <li>・ミュート（消音）になっていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボリュームを上げてください</li> <li>・ミュートを解除してください</li> </ul>
言語と字幕を変更できない	・ディスクに2種類以上の言語/字幕が入っていますか？	複数言語/字幕対応のディスクをご使用ください
ディスク再生中、ノイズが大きい、回転音が大きい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクに傷や曲がりはないですか？</li> <li>・ディスクが汚れてないですか？</li> <li>・本機に対応したディスクですか？</li> </ul>	ディスクの確認、交換をしてください
MP3再生中、ノイズが大きい、再生できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォーマットは正しいですか？</li> <li>・PCなどの他の機器で再生できますか？</li> </ul>	対応フォーマットを確認してください
メディア再生中、順番が異なる	ファイル名の半角、全角、数字は正しいですか？	ファイル名を確認してください。

## トラブルシューティング（つづき）

トラブルシューティング テレビ		
症状	原因	こうしてください
テレビが映らない テレビの映りがわるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを接続していますか？</li> <li>・アンテナ端子と本体を接続していますか？</li> <li>・チャンネルスキャンはしていますか？</li> <li>・アンテナの貼付け位置は正しいですか？</li> <li>・アンテナと端子はしっかりとくっついていますか？</li> <li>・電波のわるい場所を走行していませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを接続してください</li> <li>・端末を本体と接続してください</li> <li>・チャンネルスキャンをしてください</li> <li>・正しい位置に貼り付けてください</li> <li>・接点が浮かないように取り付けてください</li> <li>・場所や天気、方向により感度は変化します</li> </ul>
受信に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を入れたときやチャンネルを切り替えたときではありませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を入れたときや、チャンネルを変えたときには、データ取得のため映像を表示するまで時間がかかります</li> </ul>
画面にブロックノイズが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車、電車、高圧線、ネオンサインなどから電波の影響を受けていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電波の受けない場所まで移動してください</li> </ul>
トラブルシューティング Bluetooth	Bluetooth	
症状	原因	こうしてください
Bluetooth対応デバイス後に音質がわるくなった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Bluetooth通信の状態は良好ですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デバイスの場所を移動してください</li> </ul>
ペアリングできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デバイスが本気に必要なプロファイルに対応していますか？</li> <li>・デバイスのBluetooth機能は有効になっていますか？</li> <li>・本機のBluetooth機能はオンになっていますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のデバイスで接続状態を確認してください</li> <li>・デバイスのBluetooth機能をオンにしてください</li> <li>・本機のBluetooth機能をオンにしてください</li> </ul>

\*Bluetoothは小電力で通信するシステムのため、外部からの影響を受けやすくなります。

\*通信状態が悪い場合、スキャンとペアリングを繰り返すと状況が改善することがあります。

トラブルシューティング ナビゲーション		
症状	原因	
GPSを受信しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSアンテナと本体を接続していますか？</li> <li>・GPSアンテナの周辺に電波を発する機器が置かれていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンテナを本体と接続してください</li> <li>・機器を本体から離してください</li> </ul>
音声案内が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェリーなどで長距離移動をしましたか？</li> <li>・GPSは受信していますか？</li> <li>・ボリュームが小さくないですか？</li> <li>・音量設定は正しいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しばらく走行すると元に戻ります</li> <li>・GPS状態を確認してください</li> <li>・ナビのボリュームを確認してください</li> <li>・ナビの「ルート案内設定」⇒「ルート案内音」⇒「音声」になっているか確認してください</li> </ul>
ルート検索ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPSは受信していますか？</li> <li>・検索先の住所は正しいですか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GPS受信状態を確認してください</li> <li>・本機に登録されていない住所の可能性があります</li> </ul>

\*ナビゲーションの操作方法については別冊のナビゲーション取扱説明書を参照してください。

## 本機で使用できるメディアとフォーマット

分類	ファイル形式			メディア		
	ファイル拡張子	音声形式	映像形式	CD	DVD	USB
オーディオ	.mp3	MP3	—	○	○	○
ビデオ	.avi .mpg	MP3	MPEG2,MPEG4 MPEG1,MPEG2	○	○	○

※音声および映像コーデックの組み合わせによって正しく再生できない場合があります。

※比特レート、サンプリングレート、フレームレートによっては正しく再生できない場合があります。

※ファイルのエンコードおよびライティングにより、正しく再生できない場合があります。

※文字コードによって、表示内容が正しく表示されない場合があります。

※フォルダーの表示順序は、エンコードしたパソコンやアプリケーションにより、期待したものとは異なる場合があります。

※ファイルのデータサイズにより、再生時の動作が遅延する場合があります。

## 仕様

品名	フルセグチューナー内蔵9インチメモリーナビゲーション
型番	AZ-921
ディスプレイ	9型 解像度1024×600
地上デジタルTV受信周波数	470MHz～770MHz
FM/AM受信周波数	FM:76MHz～95MHz/AM:522kHz～1629kHz
USB	2本(MEDIA用/CarPlay・Android Auto用)
SD	—
Bluetooth	○
使用電源	DC12V
最大出力	40W×4
スピーカーインピーダンス	4Ω
動作温度範囲	—10° C～+60° C
AV IN/OUT	IN:1系統/OUT:1系統
寸法	W178×H100×D168.4mm
本体重量	2.83Kg
マルチメディア	
VIDEO	AVI/MPEG
AUDIO	MP3
対応ディスク	DVD±R/DVD±RW/CD-R/CD-RW/CPRM
付属品	
電源ケーブル	1本
外部入出力ケーブル	1本
フィルムアンテナセット	4セット(フィルムアンテナ×4/ケーブル×4)
マイク	1個
GPSアンテナ	1個
GPSアンテナ固定用プレート	1個
モニターアームカバー	2個
モニター固定用ネジ	5本
取り付け用ネジ	8本
地図microSDカード	16GB ※本体に挿入済
mini B-CASカード	1枚
取扱説明書(本体)	1冊
取扱説明書(ナビゲーション)	1冊
保証書	1枚

※本機の仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。

※性能向上の為の本体ソフトウェアの提供は、弊社ホームページ<https://innovativesale.co.jp/>で公開します。





# Regeo

販売元：株式会社イノベイティブ販売

※MMAUTO授權販売

〒343-0003 埼玉県越谷市船渡68-8

●お問い合わせはサービスセンターへ

**電話：048-970-5027**

※電話受付時間(土日祝祭日除く)

平日 9:00~12:00 13:00~17:00

<https://innovativesale.co.jp/>